

東九州自動車道開通により 新規RORO船就航の検討開始！



大分港（大分県）

高速道路等整備による輸送範囲の拡大



大分県は九州の東の玄関口



国内海上出入り貨物量は九州第2位
本州・四国とのフェリー航路数、
便数とも、九州第1位



- ・東九州自動車道県内全線開通
- ・中津日田道路、中九州横断道路の整備推進



大分港～清水港
新規RORO船の就航検討を開始！

→地域経済への波及効果が期待

【新規RORO船検討開始の背景】

- ・ RORO船需要の高まり
 深刻なドライバー不足
 長距離輸送が困難
 → 海上輸送への
 モーダルシフトを推進
- ・ 大分港の距離的優位性
 24時間サイクルで運行可能
 集荷から3日目の早朝までの配送が可能
- ・ 東九州自動車道の開通
 九州全域から集荷可能

大分港の距離的優位性

24時間サイクルで運航可能
 運行片道20時間
 積込・積卸4時間

